

第7回運営委員会便り

平成31年1月17日

神明中学校PTA

会長 山内 さち子

笑顔でつなぐ チーム神明



1月12日(土)9:30からPTA室にて第7回運営委員会が開かれました。

〈1〉山内会長挨拶

おはようございます。明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

我が家の長男も無事、明後日成人式を迎えることとなりました。彼も神明中出身で、友達関係も特に問題なく過ごすことができましたが、ふと思い返しこの頃感じることは、中学生はその場、その時に対処が必要だな、と。小学生の場合は一晩寝たら次の日には忘れていて、一週間経ったら気にもならなくなったというようなこともあります。中学生は色々と感じており、ふと表情が暗いな、何かあったかな？と表情や行動がいつもと違うということを感じます。なかなか保護者も忙しい毎日ですが、そのような小さいところに気づけるよう、心掛けたいと私自身も思いました。

それから、3年生はいよいよ受験本番！私自身がソワソワしております。当の本人は結構のんびりとしており、良いのか？・・・良いのでしょうか・・・親のソワソワ感を移さないように、自信を持って試験に挑めればと思います。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

〈2〉校長先生挨拶

新年おめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

2学期の終業式の時、全校生徒に3年生との卒業面接を通じて気付いた「ストライクゾーン」の話をしました。「人と人が対話する」って何だろうと考えたとき、質問に対してストライクの答えを返すことでなく、聞く人のストライクゾーンを広げることが大切ではないかということです。

上級学校や職場など、新しい環境に入ろうとするとき、「面接」は避けて通れません。もちろん場合によって、優劣を判定して、合否が決まることもあります。しかし、今回の上級学校での面接の多くの場合は、その生徒を学校として受け入れて大丈夫か、自校の生活に耐えうるか、その生徒の様子を知りたいということがポイントです。

例えば、「志望動機は何ですか？」の問いに、「進学実績がよいから」とか、「学校を訪問した時の高校生がやさしく、親切だったから」、「部活が強いから」などの答えが返ってきます。確かに、質問に対する正解＝ストライクゾーンかもしれません。ですが、「私は～したい。だから〇〇高校を志望しました」というような、「自分の意志」が「対話」には必要です。「私は～したい」「私は～思う」の「～」があることで、聞く人の質問は変わっていきます。

中学生は、子どもから大人への汽水域にいます。一つ一つの質問に対して、生徒は一生懸命「ストライクゾーン」へ答えを返そうとして言葉を飾りますが、大事なことは、一つ一つの「答え」がお団子の串のようにつなげられること、それが聞く人のストライ

クゾーンを広げます。つなげる手助けをするのが大人の役割、お団子の串を見つけてあげることが大人の勤めだと思います。

〈3〉 副校長先生挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。3学期が始まりました。3年生にとっては、進路決定の時期になりました。体調を整えて目標に向かって頑張ってください。2年生は、1月29日～2月1日まで3泊4日菅平高原スキー場での移動教室が行われます。自然に親しみ、技術を修得し、楽しんできてください。短い学期ではありますが、一年のまとめの学期として次へのステップに進む準備をしてください。さらなる成長を期待しています。

〈4〉活動報告

役員・委員会活動報告

	活動報告	活動予定
役員 (杉中P協)	12/18 第3回学校運営協議会 1/9 教育委員との懇談会 1/10 杉中P協第3回拡大役員会	1/21 杉中P協第4回実行委員会 2/28 杉中P協第4回拡大役員会
役員 (単P)	1/9 第9回学校支援本部定例会 第7回役員会 1/12 第7回運営委員会	2/6 第10回学校支援本部定例会 2/7 神明中学校区地域教育連絡協議会・ 第2回懇談会 3/6 第11回学校支援本部定例会 第8回役員会 3/11 第8回運営委員会
学級代表	1/12 土曜授業受付お手伝い	1月中旬 <3月クラス懇談会>お知らせ メール、一斉送信(1,2年生) 2月中旬 <3月クラス懇談会>出欠確認 メール、一斉送信(1,2年生) 3/7 クラス懇親会開催(1,2年) 3/8 学代定例会
校外生活	特になし	2/23 サタスタお手伝い
広報	12/16 広報委員打合せ 第3号入稿準備	2月中頃 第3号発行及び配布予定
教養厚生	特になし	特になし
選考	12月～ 役員選考 引き続き打診 12月下旬 次年度役員候補者決定 1/12 候補者仮承認、顔合せ	1月下旬 全会員宛 候補者承認文書配布 2月上旬 " " 回収

(杉中P協合同研修会参加報告)

『杉並区立中学校PTA協議会合同研修会』が、12月3日にセッション杉並で行われ、当校からは校長先生と役員4名が参加しました。

第一部は協議会会長より特別研修について、教育予算要望担当分区長からH32年度の予算要望案の報告と、学級専門委員会、成人教育専門委員会、広報専門委員会、地域専門委員会の各委員長より活動報告がありました。

第二部は、はなまる学習会代表・NPO法人子育て応援隊むぎぐみ理事長の高濱 正伸さんより『メシが食える大人に育てる』をテーマの講演でした。成長の過程において幼児期と思春期の子どもは、サナギとチョウチョくらいの違いがあり、子育てについても同じ接し方では上手くいくわけがない。幼児期は愛情としつけ、好きなことをとことんさせる時期で、家庭がなにより安心できる居場所であることが大切。一方、思春期は家庭から外の世界での活動を広げる時期で、家族以外の人で尊敬できる師との出会いの重要性を説かれました。

また、家庭のなかで母親の役割や、試練を乗り越えることの重要性について、ご自身のエピソードに笑いを交えて楽しくお話いただきました。質疑応答を含めると予定時間を30分近く越えた熱のこもったご講演で、機会があればもっとお話をうかがいたいなあと思われたかたも多いのではないのでしょうか。

(教育委員との懇談会)

分区ごとにテーマを決めて、教育委員の方々と懇談を行いました。二分区は「明日も行きたくなくなる学校」というテーマにしました。これは、今年度の小・中学生未来サミットのテーマでもあります。

残念ながら小・中学生未来サミットは、当日台風の影響で開催が出来ませんでした。それまでの発表準備や取り組みで子どもたちが感じ、一番多かった意見は「あいさつ」でした。

大人から考えると「あいさつ」は当たり前なこと。でも大事なこと。それを強制的に「あいさつしよう！」となる運動はどうか？との意見も出ましたが、応えてくれない相手にも常にあいさつをすることを心掛けていると、そのうちに相手も自分の殻から出て、気持ちを開いてくれる、そういう成長を見ることができるのではないかとのお話がありました。また、「明日も行きたくなくなる学校」というのは、「今日も行きたくなくなる学校」であり、子どもだけでなく、先生も行きたくなくなる、保護者や地域の方々も集まりたくなくなる学校を目指すのがいいね、とのことでした。今回は未来サミットで「あいさつをしよう！」と取り組みましたが、当初はいじめ防止サミットでした。現在は小学生も含めての未来サミットとして取り組み、問題に対して意見を出し合っています。このサミットもまた次の段階にステップアップしてくれることを期待したいですね、との話し合いで終わりました。

〈5〉2019年度各委員会予算要望について

- ① 各委員会で来年度予算の見直し・要望についてまとめてください。
- ② 精算の終わっている委員会は、精算書と残金を3月の運営委員会で提出してください。
- ③ まだ出金予定のある委員会は、仮決算書作成のため、残金を連絡の上、精算書を3月の運営委員会で提出してください。

〈6〉2019年度お手伝い制について

今年度の反省をふまえ、来年度必要なお手伝い人数の増減等の要望を各委員会内で検討頂き3月の運営委員会までにまとめてきてください。それをもとに、割り振りの見直しを行いたいと思います。

〈7〉卒業対策委員会より

卒業にむけての準備を進めています。卒業式当日午後からの「卒業を祝う会」では卒業生保護者の皆様とともに、先生方へ感謝を伝え、楽しく思い出を語るなごやかな会になるよう企画したいと思っています。

1月中にはご案内を送る予定です。参加費は無料ですので是非お気軽にご参加ください。

〈8〉新年度役員候補者について

第7回運営委員会にて拍手をもって承認されました。

〈9〉その他

①西荻地域区民センター運営委員募集報告

一斉メールにて募集の配信をいたしました。希望の方はいらっしゃらず、その旨、先方へご報告いたしました。

また、荻窪地域区民センター運営委員も募集がかかっております。こちらも後日一斉メール配信いたします。地域で協力したい！という方、是非ご応募お願いいたします。

②PTA室のプリンター複合機購入報告

前回の運営委員会にてご承認頂いたプリンター複合機を購入しました。性能のいいものに取り替えて頂いたのも、使い勝手がとてもよくなりました。絶対にコンセントを抜かないようにお願いします。

以上

次回の運営委員会は3月9日(土)11時00分からPTA室にて開催します(2月はありません)。時間厳守でお願いします。

